

第5学年国語科 学習指導案

2014年6月26日(木) 5校時
5年1組(男子14名 女子10名 計24名) 本時4/7
授業者 土居 彩香

- 1 **単元名** 物語の構成に気をつけて読もう
教材名 「世界でいちばんやかましい音」 (東京書籍5年上)

2 単元の目標

- 構成のおもしろさに興味をもって物語を読み、自分のミニストーリーを書こうとすることができる。 (関心・意欲・態度)
- 物語の構成をとらえて人物相互の関係や心情の変化、場面の描写のおもしろさを意識しながら読むことができる。 (C 読むこと(エ))
- 文章全体の構成の効果を考えることができる。 (B 書くこと(イ))
- 比喩や反復などの表現の工夫に気をつけて読むことができる。 (言 イ(ケ))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領・国語の第5学年及び第6学年「C 読むこと」の指導事項「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」「B 書くこと」の指導事項「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

その際、「B 書くこと」の言語活動例「ア 経験したこと想像したことを基に、詩や短歌、俳句をつくったり物語や随筆を書いたりすること。」を具体化した「物語の基本構成を知り、展開や山場のおもしろさが伝わるようにミニストーリーを書く。」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる「私だけのミニストーリー」は、物語の基本的な構成を踏まえ、中心人物が変化する「展開」「山場」のおもしろさが伝わるように物語をつくるというものである。このことにより、本単元でねらう「物語の基本的な構成をとらえる力」や「場面の展開に即して人物の変化を読む力」の育成に確実につながる言語活動にする。

本教材は、4つの場面構成【「設定」「展開」「山場」「結末】が分かりやすい基本的な構成で描かれた教材文である。また、物語の展開を盛り上げていく優れた叙述もあり、想像を豊かにしながら読む力を高めるとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を養うことができる教材でもある。主人公の性格も特徴も「設定」と「結末」での変化がとらえやすく、描写や表現もリズムカルで楽しく読むことができる。教材で学習した基本構成を活用して創作物語を作成することで、4つの構成のおもしろさをより実感できると考える。

(2) 児童観

児童は、4年5月「走れ」で中心となる人物の変容に着目して読み、4年10月「ごんぎつね」で場面の移り変わりや、人物の関係、気持ちの変化を読むことを学習してきた。12月教材の「世界で一番美しいぼくの村」では、本のショーウィンドーを書くという言語活動を設定した。子どもたちは、テーマに沿った本を選び、ショーウィンドーに書くという目的意識をもって並行読書を読み進めることができた。標準学力調査(4月実施)の結果を見ると、「読む」「書く」領域ともに全国平均を上回っている。しかし、小問題を分析すると、「二段落構成で文章を書くこと」の得点が昨年度よりも低い。また、授業や帯タイムの短作文で、構成を意識して自分の思いを書くことに課題が見られる。これは、構成を意識して提示された条件に合った文章を書く力が弱いからだと考える。

(3) 指導観

第一次では、「世界で一番〇〇な〇 ～私だけのミニストーリーをつくろう～」という学習のめあてをもち、学習の流れを知る。既習の物語2年教材「かさこじぞう」を場面絵をもとに一文ずつ4つの場面に分けたものを紹介し、4つの構成に分かれる物語を実感させる。

第二次では、これまでの学習の読みの観点を想起させ、時、場所、登場人物、中心人物、どんな出来事が起こったのか等を読む。まず前話と後話を読み比べることで、「設定」「結末」の役割を理解する。次にクライマックスを見つけることで中心人物の変化に気付くとともに、「山場」という用語を知る。そして、「展開」部分の必要性やおもしろさを叙述に基づいて考えさせることで、「展開」の役割に気付かせる。その時に、三次に向けて構成メモを渡しておき、授業の中で理解した役割を意識しながら自分のミニストーリーを考える時間を設定する。構成メモは、家庭学習の中で日常生活の様々な事象を興味深く観察し、ミニストーリーの素材集めとしても使えるようにする。

第三次では、構成メモをもとに4つの構成のそれぞれの役割を意識しながら自分のミニストーリーを書き進める。出来上がったミニストーリーは学年共通のホールや図書室に置いて、他学年にも見てもらえるようにする。この学習を通して、構成を意識しながら物語を創作する楽しさや読書の楽しさを感じられることを目指している。並行読書はいつでも手に取れるようにホールに用意し、「展開」や「山場」を楽しんで見つけることや、ミニストーリーを書くときに参考にできればと考える。さらに、作文や感想文を書く際にも、構成を意識しながら取り組むことができるようにしたい。

この単元を「読むこと」と「書くこと」の複合単元にした目的は次の二点である。①昨年度は本単元を「読むこと」を重点目標として、『展開のおもしろさが伝わるように本の紹介文を書く』という言語活動を設定して単元の学習を進めてきた。「読むこと」は一定の成果が出たと考えられる。そこで読み味わうことからさらに能動的な学習となるよう「書く」活動へと展開する。②自分のお気に入りの本の紹介をするという活動を幾度も経験していることから、より興味をもって取り組むことができるような「世界で一番〇〇な〇 ～私だけのミニストーリーをつくろう～」という言語活動を設定した。

(4) 研究テーマとの関連

単元の学習を進める中で、教師の創作したミニストーリーを聞いて、自分もミニストーリーを書いてみたいという意欲を引き出したい。第二次では、物語の基本的な構成を知り、このことを意識して自分のミニストーリーの構成メモを書く活動を進めていく。

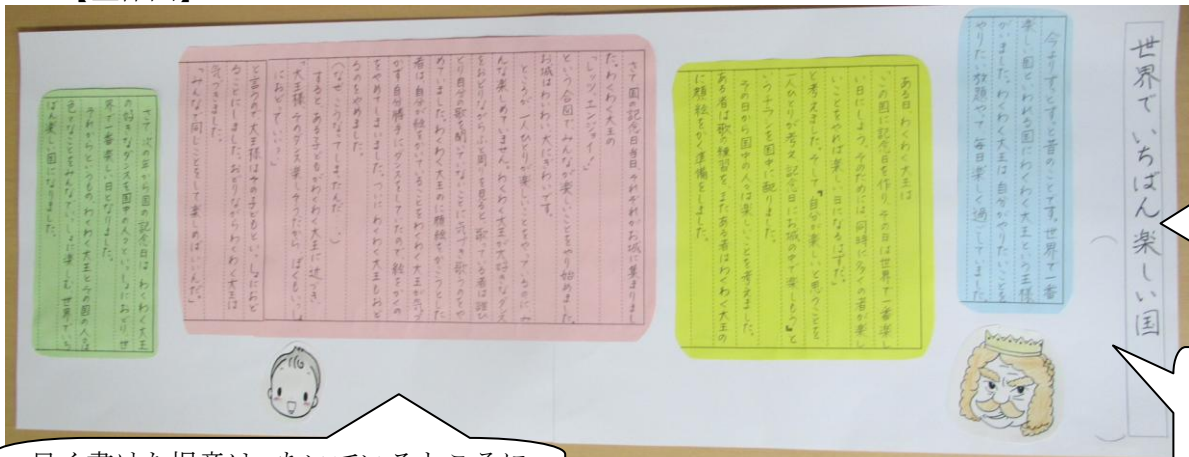
その際、「展開」の特徴を理由づけて発表し合う話し合い活動を仕組むことで、主体的な児童の姿が期待される。第三次では、構成メモをもとに家庭学習と関連付けてミニストーリーを書き進める。ミニストーリーを書くことにより、本を読む観点が確かになり、より意欲的に読書活動をすると考えられる。

4 単元の評価規準

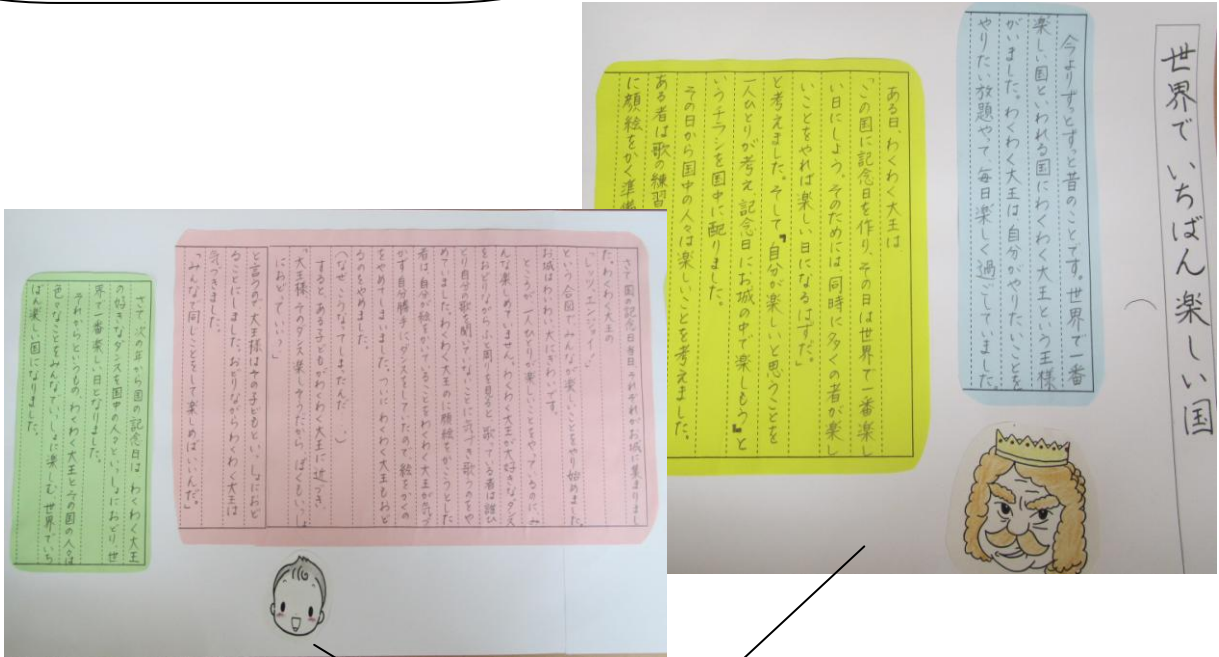
国語への 関心・意欲・態度	・構成のおもしろさに興味をもって物語を読み、自分のミニストーリーを書こうとしている。
読む能力	・物語の基本的な構成に沿って、人物相互の関係や心情の変化、場面の描写のおもしろさを意識して読んでいる。(エ)
書く力	・自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えている。(イ)
言語についての 知識・理解・技能	・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(イ(ケ))

<言語活動のモデル『世界で一番〇〇な〇 ～私だけのミニストーリーをつくろう～』>

【全体図】



早く書けた児童は、あいているところに
場面に即した絵をかくてよい。



※ 設定、展開、山場、結末を4色の色紙で分けて書く。

※ 画用紙を二枚つなげて中央で折り、提示しやすいようにする。(交流で役立つ)

※ 色を変えることで、支援の必要な児童にとって4構成のヒントとなる。

※ それぞれの場面の書く分量を自由に変えられる仕組みとする。

5 単元構想図

単元を貫く言語活動

物語の基本構成を知り、展開や山場のおもしろさが伝わるようにミニストーリーを書く。

◇学習の流れ

第一次

- 学習のめあてをもつ。
- 物語は4つに分けられることを知る。
- 全文の範読を聞く。

第二次

- 時、場所、中心人物（対人物）をおさえる。
- 「設定」部分と「結末」部分の王子様の変化を明らかにする。
- 「設定」「展開」「山場」「結末」など物語の基本的な構成や役割を考えながら読む。
- ミニストーリーの構成メモを書く。

並行読書

第三次

- 作ってきた構成メモをもとに、「世界で一番○○な○ ～私だけのミニストーリー～」を書く。

◇意識の流れ

【児童の実態】

中心人物の変容についてはとらえることができるが、文章を構成的に見る力が弱い。

- ・物語って、変わるところがおもしろいな。
- ・中心人物は王子様だ。
- ・自分だけのミニストーリーを書いてみたいな。

- ・今までに学習した前話は「設定」、後話は「結末」の部分になるね。
- ・自分のミニストーリーの「設定」「結末」はどうしようかな。
- ・クライマックスは「山場」の部分にあるね。
- ・中心人物が変わるきっかけは何にしようかな。

- ・物語のおもしろさが伝わるように、構成を意識してミニストーリーを書いてみよう。
- ・友だちの書いたミニストーリーも読んでみたいな。

単元で付けたい力

- ・物語の基本的な構成をとらえ、優れた叙述に着目しながら読む力。(C (1) エ)
- ・物語の基本的な構成を踏まえて、ミニストーリーを書く力。(B (1) イ)

6 指導計画及び評価計画（全7時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<p>学習のめあてをもとう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語の構成が4つに分かれることを確認する。 「世界で一番〇〇な〇 ～私だけのミニストーリーをつくろう～」という学習のめあてをもつ。 学習の流れを知る。 教材文の範読を聞く。 	<p>【関】物語が4つに分かれることを理解し、学習の見通しをもっている。 (発言)</p>
	2	<p>物語のあらすじをとらえよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文を読む。 時、場所、登場人物、中心人物、どんな出来事が起こったのか等、全体の大まかな内容を確認する。 	<p>【読】時、場所、登場人物、中心人物の変化を読み進めることで、あらすじをとらえている。 (発言、教材文、ノート)</p>
第二次 (本時)	3	<p>ミニストーリーを書くために前話と後話の役割を考えながら読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「前話」と「後話」を読み比べ、物語全体の構成や役割を考える。 教師のモデルストーリーの「前話」「後話」を聞く。 ミニストーリーの構成メモを書く。 	<p>【読】「設定」「結末」の役割を考えながら読んでいる。 (発言・ワークシート)</p>
	4	<p>ミニストーリーを書くために、中話の役割を考えながら読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> クライマックスを見つけることで中心人物の変化に気付くとともに、「山場」という用語を知る。 「展開」部分の必要性やおもしろさを叙述に基づいて考えさせることで、「展開」の役割に気付く。 ミニストーリーの構成メモを書く。 	<p>【読】「展開」「山場」の役割を考えながら読んでいる。 (発言・ワークシート)</p>
	5	<p>ミニストーリーを書くために展開や山場を意識して構成メモを見直そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師のモデルストーリーの「展開」「山場」を聞き、教材文と比較し、「山場」の役割を確認する。 ミニストーリーの構成メモを書く。 	<p>【書】文章全体の構成の効果を考えながら構成メモを書いている。 (発言・構成メモ)</p>
第三次	6	<p>私だけのミニストーリーを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成メモをもとに、「世界で一番〇〇な〇 ～私だけのミニストーリーを作ろう～」を書く。 	<p>【書】文章全体の構成の効果を考えながら、ミニストーリーを書いている。 (発言・ミニストーリー)</p>
	7		<p>【言】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 (発言)</p>

7 学習の展開

第二次 3時間目 (4/7)

- (1) 目標 ミニストーリーを書くために、物語の基本構成を知り、「展開」「山場」の役割について考えながら読むことができる。
- (2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 前時の学習を思い出す。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;">ミニストーリー を書くために</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;">中話の役割を考えながら読もう。</div>	<p>○時や場所、接続語などを手がかりに「設定」「結末」の部分との違いを見つけたことを想起させる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) クライマックスを探す。</p> <p>(2) 「山場」を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px;">時、場所、中心人物</div> <p>(3) 「展開」の役割を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を発表しながら、「展開」の必要性やおもしろさに気付く <p>4 4つの構成を知り、「展開」「山場」の役割をワークシートに記入する。</p> <p>「展開」…山場のきっかけ、しかけ 「山場」…大きな変化、ハプニング、 物語の重要な部分(クライマックス) 中心人物の気持ちの変化</p> <p>5 自分のミニストーリーの構成メモを書く。</p>	<p>○それぞれクライマックスと感じる場面は違って当然である。個々の考えを取り上げ評価する。</p> <p>○クライマックスが「山場」の部分にあることを確認する。その際、教材提示を活用することで山場と展開場面を強調する。</p> <p>○これまでに学習してきた場面の考え方を使って、「時・場所・人物」が変わったところを意識して考えさせる。</p> <p>○「展開」の役割を叙述に基づいて考えさせる。</p> <p>☆「展開」「山場」の役割を、根拠を明らかにし、考えながら読んでいる。</p> <p style="text-align: center;">【読】(発言、ワークシート)</p> <p>※「展開」の役割に気付けない児童がいる場合は、ペア学習をすることでヒントを得ることができるようにする。</p> <p>○クライマックスなど既習の言葉を使って説明させるようにする。</p> <p>○構成メモを書くためのヒントとして、教材文を書いた構成メモを準備し、机間指導をする。</p>
<p>6 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"> 家庭学習 構成メモを仕上げてくる。 </div>	<p>○次時は、ミニストーリーの構成メモを見直すことを伝える。</p>

(3) 評価規準

B 概ね満足できる状況

◆ミニストーリーを書くために必要な、「展開」「山場」の役割を考えながら読んでいる。

「展開」・・・山場のきっかけ。

「山場」・・・クライマックスがある。中心人物が変化する。

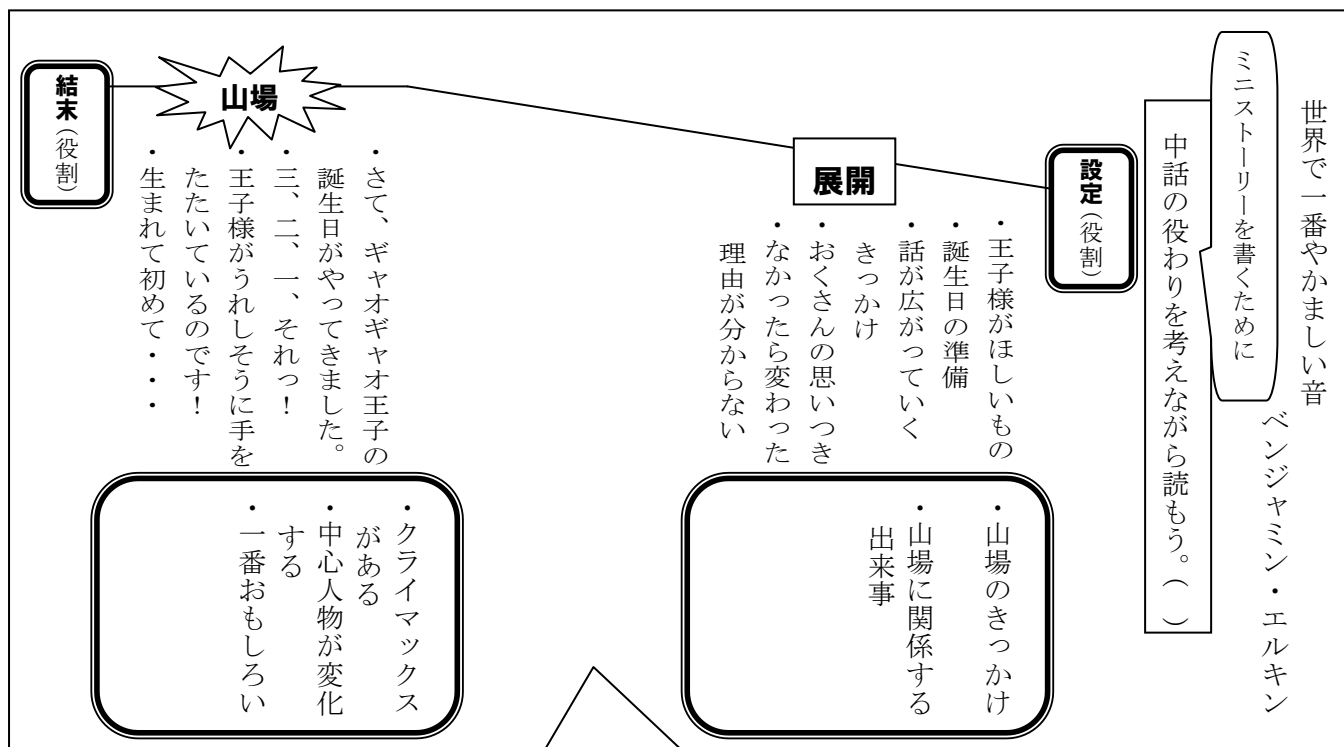
A 十分満足できる状況

◆ミニストーリーを書くために必要な、「展開」「山場」の役割について、時・場所・中心人物の変化・対人物、話のつながりなどを関連づけながら発表しまとめている。

「展開」・・・対人物がきっかけで、山場に関係するいくつかの出来事が起こる。

「山場」・・・展開のきっかけがもとでハプニングが起こり、中心人物の心情や周りの様子が大きく変化した。

(4) 板書計画



・ 4つの構成を視覚でとらえられるようにする。
・ 教材文全文を拡大コピーしたものを黒板横に掲示する。

(5) 準備物

教材文 (拡大提示用)、ワークシート、構成メモ